



東アジアサミット参加国の経済大臣非公式協議
2011年8月13日、インドネシア・マナド

共同声明（仮訳）

1. アセアン参加10か国、オーストラリア、中国、インド、日本、大韓民国及びニュージーランドの経済大臣は、2011年8月13日にインドネシア・マナドに参集し、東アジア地域に影響を与える地域的・世界的課題と東アジア首脳会合の枠組みにおける経済協力の分野の進展について意見交換を行った。
2. 閣僚は、地域及び世界の情勢、特に日本における最近の地震及び津波の被害や世界的な金融市場に影響を与える米国及びヨーロッパにおける経済情勢について意見交換を行った。閣僚は、最近日本で発生した地震及び津波の被害から日本が経済復興を遂げ、東アジア地域における物品、サービス及び人の円滑な流れを早期に回復させることの重要性を認識した。
3. 閣僚は、金融安定化を支援するとともにより力強い経済成長を促進させるために必要なあらゆる取り組みを調和的に実行することを約束した直近の G20 財務大臣及び中央銀行総裁の声明を歓迎した。閣僚は、世界の繁栄、持続可能な開発及び貧困の解消に国際貿易が重要な貢献を果たしていることを認識した。閣僚は、世界経済が不安な時こそ、保護貿易主義的傾向に抗し、市場開放を促す WTO 及び自由貿易協定（FTA）の中心的な役割を認識した。
4. 閣僚は、16 の東アジアサミット参加国が 2007 年から 2009 年までの物品及びサービスにおいて世界輸出の約 4 分の 1 を占めることを確認した。閣僚は、2010 年のアセアンとプラス6の国との総貿易額が 29.6%増の 6509 億米ドルに上り、これは経済危機前の水準である 2008 年の 5988 億米ドルよりも高いものであることを歓迎した。プラス6の国への輸出は 2009 年の 2526 億米ドルから 2010 年には 3373 億米ドルと 33.5%増加した。一方、輸入は 2010 年には 3136 億

米ドルと 25.7%増加した。プラス 6 の国は 2010 年のアセアンの総貿易額の 31.9%に貢献した。

5. 閣僚はまた、オーストラリア、中国、インド、日本、韓国及びニュージーランドからアセアンへの海外直接投資が 2009 年の 102 億米ドルから 2010 年には 193 億米ドルと 75.0%増加し、これは 2010 年のアセアンへの総海外直接投資の 75.0%を占める割合であることを確認した。
6. 閣僚は、東アジア首脳会合は地域の共同体形成において重要な役割を果たし、発展する地域的枠組みの不可欠な部分を形成しているとの首脳総意を想起した。東アジア首脳会合とアセアン・プラス 3 プロセスは、共同体構築の努力において、他の地域的なメカニズムとともに、補完的および相互に強化し合う役割を果たすべきである。EAFTA と CEPEA の研究報告における提言は並行して調査、検討されている。

東アジア包括的経済連携 (CEPEA)

7. 閣僚は、EAFTA と CEPEA の研究における提言を検討するよう指示された原産地規則、関税品目表、税関手続及び経済協力に関する 4 つのアセアン・プラス作業部会 (APWG) の進展を歓迎した。閣僚は、インドが主催した 2011 年 6 月 25 日~26 日のインド・ニューデリーでの原産地規則に関するワークショップを歓迎した。閣僚は、関税品目表に関する APWG が作業を完了したことを確認し、他の APWG に対し、議論を加速化し、2011 年 11 月の第 19 回アセアン首脳会合までに提言をまとめるよう促した。
8. 閣僚は、日本及び中国からの共同提案である「東アジア自由貿易地域 (EAFTA) 及び東アジア包括的経済連携 (CEPEA) 構築を加速化させるためのイニシアティブ」を歓迎し、意見交換を行った。
9. アセアン内外の経済統合を強固なものとするため、閣僚は、アセアンが適切な制度的メカニズムを含むアセアン++FTA のための構造及びテンプレートについて未だ作業を行っており、2011 年 11 月までに提言をまとめる際に、日中共同提案に考慮していることを確認した。
10. 閣僚は、アセアンが提案したアセアン++FTA のための構造及びテンプレートを検討することを期待し、その際に日中共同提案について更なる検討を行う。閣僚は、まずこれら提案を検討し、閣僚に助言するために、2011 年 11 月に会合を開くよう高級実務者に指示した。

閣僚は、拡大する地域経済統合の過程においてアセアンの中心性が重要であることを繰り返し強調した。

東アジア・アセアン経済研究センター

- 1 1. 閣僚は、アセアン経済共同体ブループリントの中間見直し、アセアン経済共同体スコアカード及びアセアン関連の FTA の包括的な分析の実施をアセアンに提供する支援等、中小企業、エネルギー、環境、貿易投資、インフラ開発等の様々な分野での東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）の研究活動における進捗に感謝した。
- 1 2. 閣僚は、具体的な事業の実施を支援し、官民協力（PPP）のための制度的な枠組みを強化することによって、この地域の開発格差を是正に資する「アジア総合開発計画」及び「アセアン連結性マスタープラン」の実施に係る ERIA の取り組みに感謝した。閣僚は、アセアン連結性マスタープラン、関連大臣会合及び国際機関と緊密に連携して、アジア総合開発計画を推進することが必要であると再確認し、これらの協力を円滑化させるために 2011 年の東アジア首脳会合において首脳にアジア総合開発計画の進捗を報告することに合意した。
- 1 3. 閣僚は、研究事業や政策提言を通じてアセアン及び東アジア地域における経済統合と共同体設立を確かなものとするため、ERIA を更に強化することが重要であると認識しつつ、ERIA の継続的な支援及び貢献を期待した。この観点から、閣僚は、オーストラリア、インド、日本及びニュージーランドからの継続的な拠出に感謝し、拠出が可能な国によって自発的に拠出を行う可能性を真剣に追求する意図を表明した。

東アジア首脳会合へのアメリカ合衆国及びロシア共和国の参加

- 1 4. 閣僚は、ロシア共和国及びアメリカ合衆国の首脳が 2011 年 11 月の東アジア首脳会合の参加国として参加することに言及した。閣僚は、来年の東アジアサミット経済大臣の非公式会合において、ロシアの経済大臣及び米国の通商代表が参加することを期待した。

世界貿易機関(WTO)

- 1 5. 世界経済が一層不確定になっている状況及び貿易の流れを維持することの重要性に鑑み、閣僚は、現在のドーハ交渉の行き詰まりに遺憾の意を表した。閣僚は、交渉の最終的な妥結にむけて取り組むとともに、可能な限り早く、早期の成果について合意するという固い決意を繰り返した。この早期の成果は後発開発途上国の野心に対応した要素

を含むべきである。閣僚は、また保護主義的な傾向を回避することの重要性を強調した。

経済協力

スマート・コミュニティ・イニシアティブ

16. 閣僚は、経済成長及び持続可能な開発を実現するために日本が現在実施している取り組みの進展を歓迎し、スマート・コミュニティ・イニシアティブの重要性を再確認した。閣僚は、強靱性のあるスマート・コミュニティの構築が重要であると認識しつつ、また、地震及び津波による日本の災害の経験を想起しつつ、日本政府が日本スマート・コミュニティ・アライアンス等の民間団体と協力して取り組みを強化していることに感謝した。